

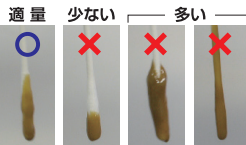
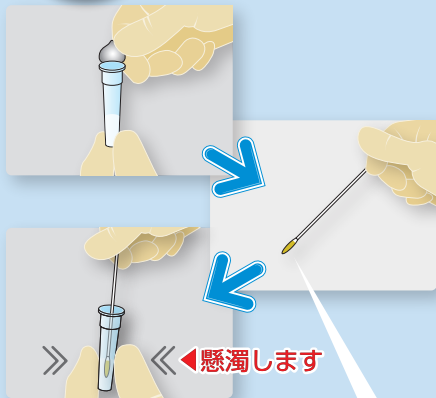
クロストリジウム
ディフィシルキット

GEテスト イムノクロマト-CD GDH/TOX

《操作方法》※操作方法の詳細は添付文書を参照ください。

STEP1 試料調製

テストプレートをアルミ袋に入れたまま室内温度（15～30℃）に戻し、使用前に取り出します。検体希釈液チューブのアルミシールをはかし、キット付属の綿棒で採取した検体（糞便又は培養分離株）を入れ懸濁します。



【固形便】

綿球を軽く覆う程度採取します。

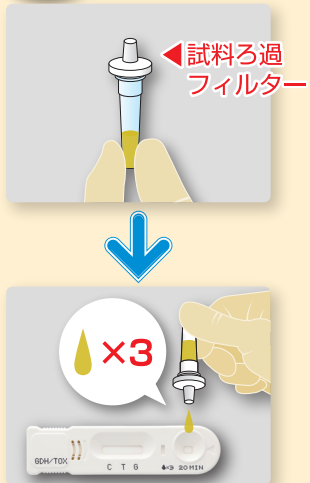
【液状/半液状便】
綿球に充分しみ込ませて採取します。

【培養分離株】

付属の綿棒でコロニーを複数個採取します。
(検体希釈液に McFarland No.3 以上の濁度となるように懸濁して調製します。)

STEP2 試料滴下

調製した試料溶液（チューブ）に試料ろ過フィルターを装着し、テストプレートに **3滴** 滴下します。



簡単操作で
試薬の入れ忘れ
なし!!

STEP3 迅速判定

試料溶液滴下の**20分後**、速やかに判定部に現れる**赤紫色のライン**を目視判定します。

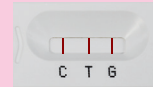
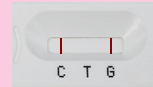


【陽性例】

抗原陽性

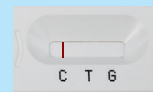
抗原/毒素陽性

※“C”に反応ラインが出現し、“G”“T”に反応ラインの発色が弱くても赤紫色の線が確認できれば陽性です。



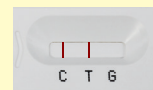
【陰性例】

※“C”に反応ラインが出現し、“G”“T”に反応ラインが明らかにない場合は陰性です。



【判定保留】

※新しい検体を用いて再試験を行います。



【判定不能】

※操作方法に注意して再試験を行います。

